

■ 1984年 8月20日 第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行 ■ 発行人 関西障害者定刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F 定価100円



# かいつぶり通信

かいつぶり通信の100号を記念して、縁の深い井伊直岳さんに巻頭エッセイを執筆していただきました。

この法人が社会福祉法人化して障害児協会に改名したとき、初代理事長を務められたのが井伊家第16代当主、井伊直愛様のご夫人、井伊文子先生でした。

## 施設のなかの ぴかっとアート!



作:野村徳司さん

乗光理事長さんの似顔絵を描きました。もっと大きな絵も描いてみたいです。

## CONTENTS

- 2 特集  
2016年4月から施行される障害者差別解消法  
福祉事業者向けガイドラインが発表されました!
- 4 お知らせ  
療育キャンプを開催しました  
NPO法人「夢・同人」様より墨蹟をいただきました  
支援型自販機が設置されました!!
- 5 レポート  
第18回湖北タウンホーム文化祭  
湖南ホームタウン文化祭・創立記念式典  
平成27年度近畿ブロック地域指導者育成セミナー
- 6 インフォメーション  
「障がい児者との共育・共生をめざす作文」受賞者発表  
肢体不自由児者とともに考える防災避難のための学習会  
Dr.植松のQ&A「後発医薬品(ジェネリック医薬品)って何?」
- 7 トピックス  
<地域貢献活動> NPO法人四つ葉のクローバー  
縁の下の力持ちサン
- 8 障害者権利条約ってなに?

題字 酒井雄哉大阿闍梨

かいつぶりエッセイ

VOL.36

## 座右の銘

「かいつぶり通信」が記念すべき100号を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

さて、常に心に留めておいて、戒めや励ましにする言葉は「座右の銘」といわれます。皆さんは、どんな座右の銘をおもちでしょうか。

私の座右の銘は二つあります。一つは「我以外皆我が師」という言葉です。吉川英治『新書太閤記』の「大坂築城」という章に書かれた言葉で、吉川英治の造語とされています(吉川英治記念館ホームページより)。自分以外のどんな人も自分にはないもの、あるいは自分よりすぐれた何かをもっています。この言葉は、自分以外の人の個性や長所を見出し、認め、学ぶ姿勢をもつことをいった言葉なのだと理解しています。

もう一つは、ちょっと長いのですが、次の言葉です。「出来る 出来る 必ず出来る/やる気があれば必ず出来る/出来ないと思えば出来ない/出来ないと考えず出来ると信じ/永遠に自分は進歩したい/出来る 出来る 必ず出来る」。この言葉は、実父が生前に私に教えてくれた言葉です。実父も誰かから教わった言葉のようでしたが、非常に気に入っており、職場の壁にも貼り出して部下に示していました。

実生活では、思うようにならないことも多く、つい投げやりになったり、不平不満をためてしまったりすることもあります。しかし、そんなマイナスな状態を引きずらず、明日は今日より少しでも進歩できるように、前向きで誰からも学ぶ姿勢を持つ自分でありたいと思います。

エッセイストプロフィール

### 井伊直岳さん



1969年、三重県桑名市生まれ。京都大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。日本近世史専攻。日本学術振興会特別研究員を経て、1998年から彦根市に奉職し、市史編さん室にて『新修彦根市史』全12巻の編さんに従事(～2014年度)。2000年に彦根井伊家の養子となり現在の妻と結婚。同年に養父(第17代当主)が亡くなり、彦根井伊家の当主となる。現在、彦根市教育委員会事務局文化財部文化財課副主幹。ふる里滋賀県人会名誉会長。彦根ユネスコ協会名誉会長。本名は岳夫。

# 特集

## 2016年4月から施行される障害者差別解消法 福祉事業者向けガイドラインが発表されました!

2016年4月に、障害者差別解消法が施行されます。この法律は、障がい者を理由にした差別や権利侵害をなくすこと、そして障がい者に対する社会的障壁を取り除くため、合理的配慮をすることをめざすものです。この法律の施行を前にこのほど、福祉事業者に向けたガイドラインが発表されました。その内容について、ご紹介します。

(※平成27年11月「障害者差別解消法福祉事業者向けガイドライン」をもとに作成しました)

### 1 福祉分野に求められていることは?

福祉事業者には、日頃から障がいに関する理解や障がい者の人権・権利擁護に関する認識を深めることが求められています。また、より高い意識と行動規範をもって、差別解消のための取り組みを進めることが期待されています。

### 2 対象となる福祉事業者とは?

- 生活保護関連事業  
救護施設、更生施設などを経営する事業など
- 児童福祉、母子福祉関連事業  
乳児院、母子生活支援施設、児童養護施設、障害児入所施設、情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設を営む事業、障害児通所支援事業、障害児相談支援事業、保育所、婦人保護施設、母子・父子福祉施設など
- 老人福祉関係事業  
養護老人ホームまたは特別養護老人ホームを営む事業、老人居宅介護等事業、老人デイサービス事業など
- 障害福祉関連事業  
障害者支援施設を営む事業、障害福祉サービス事業、身体障害者生活訓練等事業、補装具製作施設など
- 隣保事業
- 福祉サービス利用援助事業 など



### 3 具体的には、どのような対応が求められているの?

福祉事業者には、それぞれの障がい者の特性に応じた対応が求められています。ガイドラインの中で、具体的対応例として紹介されているエピソードをご紹介します。

#### 例1 ● アンケートも多様な方法で

アンケートを取る際に、印刷物だけを配布していました。すると視覚障がいの方から、電子データでほしいと要望がありました。電子データであればパソコンの読み上げソフトを利用して回答できるから、とのことでした。そこでテキストデータでアンケートを送信し、メールで回答を受け取るという方法を取ることにしました。



#### 例2 ● 施設でも電動車椅子で自由に移動したい

重度の脳性麻痺であるCさんは、介助用車椅子を使用し、施設職員や家族の介助で移動していました。リハビリテーションセンターで施設での電動車椅子による自立移動が可能か検討したところ、座位保持装置や特殊スイッチを装備・使用した電動車椅子で安全に施設内を移動できることがわかりました。

当初、施設側が安全性の確保ができるかどうか心配していましたが、リハビリテーションセンター担当職員による実地確認や使い方の指導により安全に移動できるとわかり、施設内で、Cさん本人の意思による自由な移動が可能となりました。

#### 例3 ● 日常生活動作を身につけるために

保育所に通う発達障がい児のBちゃんは、靴をそろえる、トイレにしっかり座るといった日常生活の動作の一部が十分に身につけていません。言葉による説明よりも、視覚情報による説明の方が伝わりやすいため、これらの動作の順番を具体化した絵を描き、必要に応じて見せるようにしています。また、話しかける際にも、顔を見ながら、穏やかに静かな声で話しかけるようにしています。



#### 例4 ● 呼び出し方法の改善

聴覚障害者のBさんは事務手続のため、受付を済ませ呼び出しを待っていましたがなかなか呼ばれませんでした。受付に呼ばれていないことを申し出ると「名前を呼びましたが返事がありませんでした」とのことでした。音声による通常の呼び出ししか行われなかったためです。その後、事務局は対応を検討し、聴覚障害のある方には、文字情報などでも呼び出しを伝え、手続に関するやりとりに関しても筆談等で対応することとしました。

## 4 他に取り組むことは?

障がい者差別の解消により効果的に取り組むためには、障がい者やその家族、関係者からの相談に的確に応じる必要があります。そのため、障がい者にサービス提供を行う事業者は、直接相談に応じるための体制の整備が重要とされています。

また、障がいの有無にかかわらず、たがいに人格と個性を尊重する共生社会をめざすことの意義を、職員が理解することが重要です。そのため、職員への研修を通して障害者差別解消法の普及を図るとともに、地域住民に向けた啓発活動への取り組みも求められています。



### 障害者差別解消法 私はこう考える

#### 「仕方ないと諦めていたけど、これも差別なんだな」と まず当事者が気づくことが大切です。

#### まちかどプロジェクト 中川祐希さん (25歳)

まちかどプロジェクトに来て5年目になります。一度離れて1年半の間は長浜でピアカウンセリングやバリアフリーチェック、普及活動をしていました。現在は「劇団まち پروژه」で役者やシナリオアドバイザーをし、「バリアフリー探偵レン」という障がい者の日常にある心のバリアをテーマにした演劇を上演しています。

劇で取り上げているのは、例えばコンビニにヘルパーさんと買い物に行くというシチュエーション。言語障がいのある本人が店員に話しかけても聞いてくれず、ヘルパーさんに話しかけるという内容です。もう一つは私自身の経験で、中学時代に「害児」と呼ばれていたという話です。当時は言い返せなかったし、障がいがあるから仕方ないという気持ちもありましたが、それは違う、自分もみんなと同じ一人の人間なんだというのを伝える内容になっています。最近では駅にエレベーターが設置される



#### プロフィール

大津市の作業所「まちかどプロジェクト」で講師派遣活動を軸に活動。「障害者差別のない『おおつ』を目指して」シンポジウムの実行委員長を務めるほか、滋賀県の自立支援協議会にも参加。食べ歩きが大好きで電動車椅子でどんどん街へ出て行き、店の人と顔なじみになることで、障がい者の日常の中にあるバリアの解消につなげようと実践している。

▼劇団まち پروژهの舞台「バリアフリー探偵レン」の一場面。



など、施設のバリアフリー化は進んできました。そのため障がい者は差別を感じにくくなっています。でも電車に乗ろうとすると駅員に「到着駅に連絡するので1本待ってください」と言われるんです。おかしいですよね。私にも予定があるし、10分前には駅に着いているのに。「仕方ないと諦めていたけど、これも差別なんだ」と当事者が気づくことが大切です。そこから、差別解消の第一歩が始まると感じています。

障害者差別解消法が施行されるのを前に、昨年12月11日、障がいのある当事者が集まって差別の事例などを共有しようと「障害者差別のない『おおつ』を目指して」というシンポジウムを開催しました。京都には「障害のある人もない人も共に安心していきいきと暮らせる京都づくり条例」があります。滋賀でこのような条例が制定されるための一歩にしていきたいですね。

# お知らせ

## 療育キャンプを開催しました

今回、初めて療育キャンプへの参加となり、日頃関わらない小さいお子様と関われる事に楽しみ半分、ケガなどなく楽しんでもらえるか不安半分での参加となりました。どきどきしながら最初の療育活動の時間になり班に分か

日時:2015年10月17日(土)~18日(日)  
会場:こんぜの里栗東・森の未来館

れてのケーキ作り。私の班のお子様がちょうど誕生日が近いと聞き、お菓子作りが趣味なボランティアさんが名前とHappy Birthdayと入れてくれ、その子もお母さんもニコニコ顔。他の班も思い思いにケーキを作り満足げな顔。その顔を見てようやく緊張がほぐれました。

参加されたご家族、お子様にとって良い時間を過ごして頂けるよう次回も企画していきたいです。

(湖南ホームタウン支援課 津本春陽)



▲ケーキ作りの様子



▲ボイタ法について学びました

## NPO法人「夢・同人」様より墨蹟をいただきました



この度、NPO法人「夢・同人」様より、天台宗大僧正小林隆彰長膺様の墨蹟「福聚」をご恵贈いただきました。施設利用者職員一同、深く感謝する次第です。また、「施設入所者様はじめ利用者様またすべての人々の社会福祉向上を願っております」のお言葉をお手紙で頂戴しました。

当施設は日々、障害のある人が利用されていますが、このような温かい心に支えられていることを改めて実感する次第です。最後に、「夢・同人」様の日々の社会貢献活動がこれからもますます発展されることを祈念しております。

(湖南ホームタウン所長 高山 徹)

## 支援型自販機が設置されました!!

大津市にある連合福祉会館に、コカコーラ支援型自販機が設置されました。売上収益の一部は父母の会活動資金として活用されます。設置にご協力をいただきました連合滋賀さんに深く感謝申し上げます。

この支援型自販機は「SHARE THE SPIRIT～思いはひとつ～」をテーマとし、障がいのある人の福祉の増進と社会参加を目的とした事業に活用することをめざして設置されます。ご協力をいただける事業所がありましたら、父母の会事務局までお知らせください。



# レポート

## 第18回 湖北タウンホーム文化祭

11月7日(土)、第18回湖北タウンホーム文化祭が開催されました。例年より少し遅めで、寒い時期の開催となりましたが、ご家族様、ボランティアや地域の方々など、多くの方が参加して下さいました。

当日の演目は、大学生による吹奏楽演奏、小学生の合唱に加え、各通りの入居者の発表、新人職員によるダンス披露、両施設長による漫才があり、おおいに盛りあげられました。

昼食は、豪華なバイキング形式で提供しました。鉄板を使用したお好み焼きとたい焼きは評判が良く、満足していただけたと思います。また、今回はボランティアさんによる綿菓子の実演もあり、利用者はもちろん、お子様にも大好評でした。

今年も、多くの方に参加していただき、文化祭を無事終えることができました。みな様のご協力、ありがとうございました。来年は、今年よりもっと地域に根ざした行事になれば良いと思います。

(実行委員長 古谷 祥)



## 湖南ホームタウン文化祭・創立記念式典

この日のために一生懸命練習をされた音楽会・ユニットごとに思考をこらした発表会や展示・日々の活動の集大成の1日だったと思います。地域の方々も沢山ご来場下さり真剣にご覧いただきました。

利用者様の笑顔も輝いていました。普段の生活では気付かない行動や表情も凄く新鮮に感じられました。大勢の人の中で何かをする事の素晴らしさを改めて感じました。時間だけが過ぎて行く日々をもう一度見直していかなければいけない事にも気付かしていただきました。皆様に心から感謝の気持ちと感動でいっぱい文化祭でした。

(実行委員長 松岡 恵)

ユニット対抗ゲームの様子 ▶



## 平成27年度近畿ブロック地域指導者育成セミナー 『肢体不自由児者への合理的配慮とは』～合理的配慮を踏まえた相談支援～

日時:平成27年11月14日(土)~15日(日) 会場:ホテルリガーレ春日野(春日野荘) 奈良市法蓮町757-2

2014年1月、ようやく日本も障害者権利条約を批准しました。権利条約では、障害に基づくあらゆる差別を禁止しています。この差別は直接的な差別だけでなく、障がいのある人の権利の確保のために必要な調整を行わない「合理的配慮の否定」も含まれるということが示されています。

障害者基本法の第4条にも「差別の禁止」が新設され、合理的配慮がされないことが差別につながると明記されました。また2012年4月、「計画相談支援」という制度が始まり、一人ひとりに応じた「サービス等利用計画」を作成することになりました。この4月には「差別解消法」も施行されます。相談支援の業務に従事している私は「合理的配慮を踏まえた相談支援」について深く学びたいと考え、本セミナーに参加しました。

今までの相談支援は、家族、専門職、行政主導ですすめる傾向に偏っていたことは否定できません。合理的配慮は「社会モデル」の考え方を軸にしています。つまり「障がいのある人の生きづらさの原因はその人の機能的な障害に問題があるのではなく、その人をとり巻く生活環境にある」という考え方です。

合理的配慮を踏まえた相談支援とは、本人の選択や意思決定中心の支援であり、生活環境を整え、その人らしく地域で生活すること、ライフサイクルに沿った支援であることを学びました。また、本人主体を基本とした信頼関係の構築が相談支援専門員により求められることをあらためて自覚することになりました。

当事者の人生はこれからも長く、プランニング内容はその都度当事者と相談員が話し合いながら変更していくことができます。相談支援事業所は地域ケアの要役であり、当事者主体の基本姿勢でプランを作成していきたいと思っています。

湖南地域身体障害者相談支援センター「やじろべえ」  
相談支援専門員 河田寛隆



▲グループ発表の様子

# インフォメーション

## 第7回「障がい児者との共育・共生をめざす作文」受賞者発表

本年度は滋賀県内の中学校8校から、161作もの力作が寄せられました。その中から、受賞5作と佳作6作が発表されました。

- 理事賞 「身近な障がい」 大津市立日吉中学校1年 佐久本 盛陽さん
- 会長賞 「あなたとわたし」 大津市立日吉中学校3年 吉川 結音さん
- 審査委員長賞 「私のおじいちゃん」 草津市立高穂中学校1年 藤木 楓さん
- 審査委員特別賞 「社会のありかたについて」 東近江市立永源寺中学校2年 西田 優雅さん
- 「平等ということ」 湖南市立石部中学校3年 吉田 愛さん

- 佳作 「障害者とのふれ合い」 東近江市立永源寺中学校1年 栗田 空さん
- 「おじいちゃんから学んだこと」 大津市立日吉中学校1年 竹川 颯馬さん
- 「障害者の立ち場になって」 草津市立高穂中学校2年 中村 翔さん
- 「体験で見た心の壁」 大津市立日吉中学校2年 北川 ジャン瑠加さん
- 「私が「障害」について考えたこと」 大津市立日吉中学校3年 細川 美羽さん
- 「みんなで障がいと共に生きていけたら」 湖南市立石部中学校3年 新庄凜々子さん

※学年は2015年度(または作文を書いた時点での)の学年です。

入賞名ならびに佳作に選ばれた作品は、受賞作品集として冊子にして県内の行政、図書館、全ての小中学校へ寄贈いたします。関心をお持ちいただいた方は是非お読みください。応募していただいたみなさん、予選に参加いただいたボランティアのみなさん、ご協力ありがとうございました。2016年度も引き続き夏休みの期間に作文を募集します。各学校へお問い合わせください。



## 肢体不自由児者とともに考える防災避難のための学習会

- 日時 平成28年1月30日(土) 10:00~12:30
- 場所 草津市民交流プラザ 小会議室3  
草津市野路一丁目15番5号フェリエ南草津5階  
(JR琵琶湖線南草津駅東口徒歩2分程度)
- 内容 講演「肢体不自由児者とともに考える防災避難」  
講師 八幡 隆司氏  
(特定非営利活動法人 ゆめ風基金 理事)
- 障がいのある人に配慮した防災備蓄品の紹介
- 定員 30名程度
- 参加費 無料
- 申込方法 事務局まで所定の参加申込書を提出いただくか、締切日までに参加希望者の「住所・氏名・連絡先」をFAXまたは郵送にてご連絡ください。
- お問い合わせ先 滋賀県障害児者と父母の会連合会  
(湖南ホームタウン内 担当:小川)  
〒524-0022 守山市守山町168-1  
TEL 077-514-1685 FAX 077-514-1702

# トピックス

## 地域貢献活動

湖南ホームタウン(通称:かいつぶりハウス)に事務局を置く「ONW」(おたがいさんネットワーク)の加盟団体の活動を紹介します。

## ～社会的養護の必要な若者たちの自立支援～ 若者たちに夢と希望を!!

NPO法人 四つ葉のクローバー

四つ葉のクローバーは児童養護施設を退所した若者や社会的養護の必要な若者たちの自立支援を行っている団体です。

施設出身者の多くは虐待というトラウマを抱えどんなに頑張ろうとしても仕事が続かない、あげくにホームレスや闇に陥るケースも少なくありません。

虐待等で深刻な心の傷を持った若者たちが安価で安心して生活ができる居場所を確保するために守山市役所近くに「四つ葉のクローバー」を設立しました。3.4階では若者たちが共同生活をして大学や仕事に通っています。1階では就労支援場所として餃子屋「竹の子」を開業し、施設入所中の中学生・高校生が就労体験をしたり、貧困や引きこもりなどに苦しむ若者たちが安心して相談に来れる居場所作りをしています。

施設で育たなければならなかった彼らに何の責任もありません。安心して社会に巣立ち、夢と希望を持って笑顔で暮らせる環境を作ることは、私たち大人の責任だと考えています。光を求めて暗闇をさまよう若者たちの姿は今、大人へのさまざまな課題を突き付けていると言えます。

“可能性を諦めないでほしい”四つ葉のクローバーは彼らの未来を信じ、夢を応援し続けます。



▲お正月鍋パーティーの様子



▲夢コートビル



NPO法人 四つ葉のクローバー  
理事長 杉山 真智子  
事務局 守山市守山2丁目15番25号 夢コート3階  
TEL/FAX:077-584-5688  
URL:http://www.yotubanokuroba2013.com/

## Dr.植松のQ&A



### 植松潤治先生プロフィール

湖北グループクリニック 院長  
日本小児科学会専門医  
日本小児神経学会専門医  
日本リハビリテーション医学会認定臨床医

平成元年滋賀医科大学卒業、平成8年同大学院卒業、医学博士。日本小児科学会、日本小児神経学会、日本リハビリテーション医学会、日本児童青年精神医学会、日本重症心身障害学会所属。介護支援専門員。

## Q いまさらですが、後発医薬品(ジェネリック医薬品)って何でしょうか?

A テレビや新聞でも大きく報道されていますね。また、保険者から、郵送で「今回の処方薬を後発医薬品にしてもらえば、〇〇円支払いが安くなります」といった案内も届きます。ここで、滋賀県医師会の見解をご紹介します。

①後発医薬品は、先発医薬品と成分と効能に関しては同等とされているが、添加物が異なるなど全く同一ではない。従って、後発医薬品の使用に責任を持っていない場合は、その旨患者に説明し、先発医薬品を処方する。

②処方権は各医師にあり、処方された医薬品に対する責任は処方した医師に帰着する。従って、後発医薬品の安全性と有効性に対する情報提供が、先発医薬品と同様に、処方する医師になされなければならない。

③提供された情報をもとに、先発か後発かを選択するのは最終的には患者の判断に委ね、患者の自己責任のもとに使用するのが望ましい。

このように、後発医薬品に関しては医師と患者の双方の合意の上で処方が確定します。これまでのように、「お薬は分からないので医師に任せておけばOK」とは言えなくなりました。決して「安かろう悪かろう」と言うつもりはありませんが、患者自身が選択をするという事は、その後の責任も患者側にも一部帰属する、ということも合わせて広報してもらいたいものです。

## 縁の下の力もちサン

ご支援ありがとうございました!  
(平成27年9月末~12月分掲載)

- 寄付金**
  - 【湖北タウンホーム】 伊藤幸子様、岩口由紀様、大森正義様、虎姫日赤奉仕団様
  - 【湖南ホームタウン】 守山市身体障害者連合会 会長 中島 寅治朗様、武宏平様、NPO法人音楽療法の会ささなみ 森田英子様、辻 ひとみ様、三輪章様、北村孝様、家庭的保育室ふゆーちやー 山田昭仁様、家庭的保育室びっこ様、家庭的保育室はぐ♡HUG 村瀬恵子様、林田博恵様、フローレンス文庫様、佐伯一恵様、乗光三津子様、乗光秀明様、守山地区更生保護女性会様
- 物品ご寄付** (書き損じハガキを含む)
  - 【湖北タウンホーム】 虎姫日赤奉仕団様、北村健次様、藤田尚樹様、那須輝夫様
  - 【湖南ホームタウン】 北川英次様、青木えい子様、望主裕子様、安田美也子様、奥野喜久子様、今井忠雄様、太田樹義様、滋賀【父母の会】 県年金受給者協会 会長 富江 義和様
- ボランティア**
  - 【湖北タウンホーム】 伊藤ゆきえ様、赤井淑子様、西川桂子様、横山博志様、野別真紀子様、村地司様、デルロザリオ・恵美様、米田礼子様、藤井恵美様、渡辺彩乃様、香水亜賀理様、木村幸一様、国友強様、北村マサエ様、米田静江様、小崎満智子様、白矢貴大様、瀬利牙香様、谷掛まみ様、古野勝廣様、山田和子様、宮島素江様、伊部富美代様、清水和子様、牧本和美様、小崎春生様、高宮和代様、北川美由紀様、坂野滋様、米田庄一様、山路紹子様、堤静代様、横田郁美様、伊藤めぐみ様、滝沢照美様、松田裕香子様、佐治亜弥香様、徳田智史様、那須輝夫様、うえの賢一郎様、長浜市老人クラブ連合会様、赤十字奉仕団、虎姫地区民生委員様、オカリナ青い鳥様、民謡同好会ささなか様、長浜ギター・マンドリンアンサンブル様、おやじの会、虎姫福祉の会、民謡ささなか様、岡田琴千流大正琴様、虎姫地域づくり協議会様、長浜バイオ大学吹奏楽部様、長浜小学校合唱団様
  - 【湖南ホームタウン】 吉身学区社会福祉協議会ボランティア部会ボランティア登録者様、車椅子レクダンス矢車草の会様、レイカディア大学34・35・37期生様、楽々20様、チューリップ23会様、ドリーム18会様、虹の会24・2525会様、青人草様、守山健康マージャン「すこやか会」様、守山市民生委員児童委員協議会様、うり坊の会様、キラッと22様、森田孝子様、村山晴美様、吉岡信子様、飯田勝栄様、大江末子様、三本栄子様、茶谷正子様、樋口操子様、宮川明子様、芝田規子様、津田貞子様、太田千恵子様、林田博恵様、山田豆子様、寺井美耶様、美濃部文代様、三品栄子様、林皓子様、中野由美子様、藤下多恵子様、吉田佐代子様、青木えい子様、戸梶恵美子様、野玉明美様、津田由紀子様、中村紘一様、饗庭夏生様、濱邊未歩様、森井孝一様

